

# 現場代理人等通知書

年月日:

(発注者) 殿

住 所  
(受注者) 商号又は名称  
代表者氏名

印

令和〇年〇月〇日付けをもって請負契約を締結した ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
工事 について、宮崎県工事請負契約約款第10条に基づき現場代理人等を下記のとおり定  
めたので、別紙略歴書を添えて通知します。

記

現場代理人氏名

主任技術者又は  
監理技術者氏名※

専門技術者氏名

※「資格者証(写し)」を添付する。

年月日：

（発注者） 殿

住 所  
（受注者） 商号又は名称  
代表者氏名

印

### 現場代理人等変更通知書

工事名 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○工事

令和○年○月○日 付で通知した上記工事の現場代理人及び技術者を下記のとおり

変更したいので、別紙略歴書を添え、宮崎県工事請負契約約款第10条にもとづき通知します。

#### 記

現場代理人等変更年月日	
変更する現場代理人等区分	

旧現場代理人等氏名	新現場代理人等氏名
変 更 事 由	

※「資格者証(写し)」を添付する。

(注)1. 新現場代理人等の記入内容は現場代理人等通知書に準ずる。

2. 変更する現場代理人等区分には、下記から該当する区分を記載する
- ・現場代理人
  - ・主任技術者
  - ・監理技術者
  - ・専門技術者

# 工 程 表

年月日：

（発注者） 殿

工 事 名 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○工事

工事場所

工 期 自 至

住 所

（受注者） 商号又は名称

代表者氏名

印

工 種	月			月			月			月			月			月			
	日	1	11	21	1	11	21	1	11	21	1	11	21	1	11	21	1	11	21

記載要領 1 工種は工事数量総括表の工種を記載する。（工種以外でも必要なものは、記載する。）  
 2 予定工程は黒実線をもって表示する。

（注）工事計画を別紙とする場合は、その枠内に「別紙のとおり」と記載してください。

建設業退職金共済制度の掛金収納書

年月日：

(発注者) 殿

住 所  
(受注者) 商号又は名称  
代表者氏名

印

建設業退職金共済組合証紙購入報告

下記のとおり証紙を購入したので当該掛金収納書を添付して報告します。

工事名	○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○工事	工 期	
契約年月日	令和○年○月○日	契約金額	
共済証紙購入金額	¥		
掛金収納書を貼る (契約者から発注者用)			

- (注) 1. 添付する掛け金収納書は中小企業主に雇われる場合は赤色、  
大手事業主に雇われる場合は青色
- 2. 金額は、空白を作ることなく、左詰で記入すること。
- 3. 裏面又は別紙により掛率及び計算式が分かるよう記載すること (様式任意)

年月日:

請求書 ( )

(発注者) 殿

住所  
(受注者) 商号又は名称  
名

印

下記のとおり請求します。

請求金額 ¥

ただし、次の工事の )として

工事名 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○工事

契約日 令和○年○月○日

契約金額 ¥

振込希望金融機関名 ○ 銀行 ○ 金庫  その他 店

預金の種別

口座番号

口座名義

フリガナ

債権者番号

- (注)1. ( )には前払金、中間前払金、部分払金、指定部分完済払金、完成代金の別を記入すること。
2. 前払金及び中間前払金を請求するときは、前払金保証事業会社の保証証書を添えて請求すること。
3. 部分払金及び完成代金を請求する場合は、請求内訳書を添付すること。
4. 債権譲渡及び代理受領による請求をする場合は、別途定める様式により請求をすること。
5. 金額は、空白を作ることなく、左詰で記入すること。

## 請 求 内 訳 書

1. 請負代金額	(A)	¥ _____			
2. 前払金額	(B)	¥ _____			
3. 中間前払金額	(C)	¥ _____			
4. 出来高金額	(D)	¥ _____			
5. 前回までの出来高金額	(E)	¥ _____			
6. その他控除額	(F)	¥ _____			
7. 今回の出来高金額	(G=D-E-F)	¥ _____			
8. 請求し得る金額	$(G \times 9/10 - (B+C)/A)$	¥ _____	$(B+C)/A$	%	
			$\div$	%	
9. 前回までの部分払金額		¥ _____			
10. 今回請求する金額		¥ _____			

(注) 1. 部分払については、8欄の末尾には(B+C)/Aの割合を記入すること。ただし、(B+C)/Aの率は1%未満は切上げ、今回請求する金額は小数点以下を切り捨てること。

2. 宮崎県工事請負契約約款第37条第6項及び第7項により算出

3. 請求するに当たり、必要な項目に金額を記入すること。

4. 金額は、空白を作ることなく、左詰で記入すること。

年月日：

# V E 提 案 書

(発注者) 殿

(受注者) 印

宮崎県契約後VE方式実施要領第4条第1項の規定に基づき、VE提案書を提出いたします。

工事件名： ○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○工事 契約締結日： 令和○年○月○日	連絡者 氏 名 T E L F A X	
VE提案の概要 <div style="float: right; text-align: right; margin-top: 10px;">                     注) 記入欄が不足する場合には、別記様式第1号の2として追記して下さい。なお、概算低減額は、提案を審査する上で参考とするものです。                 </div>		
番号	項目内容	概算低減額：千円
概 算 低 減 額 合 計		

別記様式第2号

番 号	項 目 内 容
-----	---------

(1) 設計図書の定める内容と、VE提案の内容の対比

【現状】 ----- 略図等	【改善案】 ----- 略図等
----------------	-----------------

(2) 提案理由

(3) VE提案の実施方法（材料仕様、施工要領等を記入）

(4) 品質保証の証明（品質保証書の添付等）

(5) その他



別記様式第3号

番 号		項目内容	
-----	--	------	--

VE提案による概算低減額及び算出根拠

【 現 状 】						【 改善案 】						摘 要	
単位：千円						単位：千円							
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額		

(注) 必要に応じて、算出根拠の裏付けとなる数量計算表、単価根拠（見積書、工事算定書等）を添付するものとする。

別記様式第4号

番 号		項目内容	
-----	--	------	--

(1) 工業所有権等の排他的権利を含むV E 提案である場合、その取扱いに関する事項

(2) V E 提案が採用された場合に留意すべき事項 (提案内容の公表に係る所見等)

(注) 必要な場合は、別途説明資料 (説明図表、技術的検討書等) を添付すること。



# 材 料 確 認 書

(株) ●●建設

年月日：

工事名 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○工事

標記工事について、下記の材料確認を実施願います。

記

材料名	品質規格	単位	搬入数量	確 認 欄				備考
				確認年月日	確認方法	合格数量	確認印	

総 括 監督員	主 任 監督員

現 場 代理人	主 任 (監 理) 技術者

# 段階確認書 施工予定表

年月日：

下記のとおり施工段階の予定時期を報告いたします。

工事名 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○工事

受注者名：  
現場代理人名等： 印

種 別	細 別	確認時期	施工予定時期	記 事

年月日：

## 通 知 書

下記種別について、段階確認を行う予定であるので通知します。

総括監督員名：

確認種別	確認細別	確認項目	確認時期予定日	確認実施日等

年月日：

## 確 認 書

上記について、段階確認を実施し確認した。

総括監督員名： 印

## 現地調査・立会書

総括 監督員	主任 監督員

現場 代理人	主任 (監理) 技術者

### 現地調査・立会事項

工事名 ○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○工事

年月日： \_\_\_\_\_

下記について 現地調査・立会 を願いたい。

記

工種		
場所		
資料		
希望日時		時

確認立会員		
実施日時		時
記事		

<h1 style="margin: 0;">事 故 速 報 (第 報)</h1>						
情報の通報者名		(受注者名、第三者名等)				
令和 年 月 日 時 分受信						
発信者					受信者	
事故発生月日	令和 年 月 日 ( ) 時 分				天候(温度)	
事故発生場所						
工事名	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○工事					
工期	から まで					
受注者名						
事故の内訳	氏 名	年 齢	性 別	職 種	被害の程度	備 考(病院名等)
事故の概要	※事故の原因、経緯、処置等					
備考	※関係機関(労働基準監督署、警察署等)対応状況 ・被災者の装備、自然環境の状況(河川水位等) ・下請負人等の商号又は名称 ・物的被害の場合は、規模、被害額等 ・連絡先等					

※ ①この様式はA4で使用し、事故現場の平面図及び簡単な状況図を添付すること。  
 ②工事事故発生確認後、直ちに電話により担当部署に連絡する。また、状況を把握でき次第、早急にメール又はFAXで担当部署に本様式により報告を行うものとし、更に詳細な状況が把握された段階で逐次報告するものとする。

# 工事履行報告書

(株) ●●建設

工事名	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○工事		
工期	~		
日付	(      月分)		
月      別	予定工程   % (   ) は工程変更後	実施工程   %	備      考
(記事欄)			

総 括 監督員	主 任 監督員

現 場 代理人	主 任 (監理) 技術者



年月日：

(発注者) 殿

住 所  
(受注者) 商号又は名称  
代表者氏名

印

## 認 定 請 求 書

宮崎県工事請負契約約款第34条第4項に基づき、下記工事の中間前金払の認定を請求します。

### 記

契 約 日 令和〇年〇月〇日

工 事 名 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○工事

工 期 自  
至

工 事 場 所

請 負 代 金 額 ¥

(注) 1. 債務負担行為に基づく契約の場合は請負代金額欄の下段に各年度の出来高予定額を記入すること。

**【記載例】**

(出来高予定額)	(和暦) 〇〇年度	¥	△△△
		∫	∫
	(和暦) □□年度	¥	×××

2. 債権譲渡及び代理受領による請求をする場合は、別途定める様式により請求をすること。

3. 請負代金額は、空白をすることなく、左詰で記入すること。

年月日：

（発注者）殿

住所  
（受注者）商号又は名称  
名

印

## 指 定 部 分 完 成 届

下記工事の指定部分は、年 月 日 をもって完成したので宮崎県  
工事請負契約約款第38条第1項に基づき通知します。

### 記

工事名 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○工事

工 期 自 至

請負代金額 円

指定部分工期 自 至

指定部分に対する請負代金額 円

（注）1. 債務負担行為に基づく契約の場合は請負代金額欄の下段に各年度の  
出来高予定額を記入すること。

【記載例】

（出来高予定額）	（和暦）○○年度	円	△△△
	）		）
	（和暦）□□年度	円	×××

- 債権譲渡及び代理受領による請求をする場合は、別途定める様式により請求をすること。
- 請負代金額及び指定部分に対する請負代金額は、空白を作ることなく、左詰で記入すること。



年月日:

(発注者) 殿

住 所  
(受注者) 商号又は名称  
代表者氏名

印

## 請負工事既済部分検査請求書

宮崎県工事請負契約約款第37条第2項により既済部分検査を請求します。

記

工 事 名	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○工事
工 期	自
	至

年 月 日

発注者 殿

(受注者)

称号又は名称

代表者名

印

## 修 補 完 了 届

年 月 日の ( ) 検査において、指示されました

手直部分については、下記のとおり完了しましたのでお届けいたします。

### 記

工 事 名 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○工事

契 約 額

工 事 場 所

工 期 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日

完 了 日 令和 年 月 日

修補、改造箇所及び補修内容

---

(注) 本文 ( ) 内には検査種類を記入する。

年月日：

受信者：「受注者名」又は『発注者名』  
殿

発信者：「発注者名」又は『受注者名』  
印

### 工事の部分使用について

標記について、下記のとおり部分使用することを、宮崎県工事請負契約約款  
第33条第1項に基づき（ 協議 ・ 承諾 ）する。

#### 記

1. 使用目的
2. 使用部分
3. 使用期間 自  
至
4. 使用者
5. その他

- 
- （注）1. （協議・承諾）には、いずれかに印をつける。  
2. 協議の場合は、受信者を「受注者名」、発信者を「発注者名」として、  
発注者が作成する。  
3. 承諾の場合は、受信者を『発注者名』、発信者を『受注者名』として、  
受注者が作成する。

# 支 給 品 受 領 書

主任監督員 ●●●● 殿

年月日:

受注者 (住所)

(代表者氏名)

(現場代理人氏名)

印

下記のとおり支給品を受領しました。

記

工事名	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○工事				契約年月日	令和○年○月○日
品 目	規 格	単 位	数 量			備 考
			前回まで	今 回	累 計	

# 支給品精算書

年月日:

主任監督員 ●●●● 殿

受注者 (住所)

(代表者氏名)

(現場代理人氏名)

印

下記のとおり支給品を精算します。

記

工事名	○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○工事			契約年月日	令和○年○月○日	
品目	規格	単位	数量			備考
			支給数量	使用数量	残数量	
※ 主任監督員 証明欄	上記精算について調査したところ事実に相違ないことを証明する。 年月日: (氏名)					※物品管理簿記録 年 月 日

(注) ※は主任監督員が記入する。



建設機械使用実績報告書

令和 年 月分 自 日 至 日

工事名 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○工事

建設機械の貸付契約年月日

借受人（氏名）

印

主任監督員の認印 印

作成者（氏名）

印

建設機械名	建設機械番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量	稼動状況		維持修理費	修理箇所等	摘要
				運転日数	運転時間			
				日	時間	千円		
				日	時間	千円		
				日	時間	千円		
				日	時間	千円		
				日	時間	千円		
				日	時間	千円		

(注)

1. おもな作業内容の欄は、貸付機械を二工種以上の異なる作業に使用したときは、運転時間又は運転日数の最も多い作業内容を記入す
2. おもな作業の作業量の欄は、おもな作業内容に欄に記入した作業の作業量を測定できるときに記入する。
3. 運転時間の欄は、運転時間の管理のできない機械又は管理の必用のない機械については、記入を省略することができる。
4. 運転のミス又は不慮の事故に伴う修理で、当該修理に要した費用が300千円を超えるときは、修理内容の詳細な説明を添付する。

年月日:

主任監督員 ●● ●● 殿

受注者 (住所)

(代表者氏名)  
(現場代理人氏名)

印

建設機械借用・返納書

本工事における使用建設機械を機能現況確認の上、下記のとおり 借用 返納 しました。

工事名	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○工事						
	建設機械名	型式	機械番号	付属品			引渡しを受けた場所
名称				規格	数量		

引渡し立会者

宮崎県 (氏名)

印

借受人 (氏名)

印





年月日：

（発注者）殿

住 所  
（受注者）商号又は名称  
代表者氏名

印

## 完 成 届

下記工事は 年 月 日 をもって完成したので宮崎県工事請負  
契約約款第31条第1項に基づき通知します。

### 記

1. 工 事 名 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○工事
2. 請負代金額 ¥
3. 契約年月日 令和○年○月○日
4. 工 期 自 至

---

（注）1. 本文の年月日は実際に完成した年月日を記載する。  
2. 請負代金額及び指定部分に対する請負代金額は、空白を作ることなく、  
左詰で記入すること。

年月日：

（発注者） 殿

住 所  
（受注者） 商号又は名称  
代 表 者 氏 名

印

## 引 渡 書 申 出 書

下記工事を宮崎県工事請負契約約款第31条第4項に基づき引き渡します。

1. 工事名 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○工事
2. 請負代金額 ￥
3. 検査年月日

---

（注）請負代金額は、空白を作ることなく、左詰で記入すること。



出来形合否判定総括表

工 種

測点

種 別

合否判定結果

測定項目		規格値	判定	測点
天端 標高較差	平均値			
	最大値(差)			
	最小値(差)			
	データ数			
	評価面積			
	棄却点数			
法面 標高較差	平均値			
	最大値(差)			
	最小値(差)			
	データ数			
	評価面積			
	棄却点数			

+100  
+80  
+50  
+20  
±0  
-20  
-50  
-80  
-100

天端

品質管理図表

工種 \_\_\_\_\_

種別 \_\_\_\_\_

測定者 \_\_\_\_\_ 印

測点												略 図					
設計値との差																	
測定項目				測定項目				測定項目									
規格値				規格値				規格値									
測点又は区別	設計値	実測値	差	測点又は区別	設計値	実測値	差	測点又は区別	設計値	実測値	差						
平均値																	
最大値																	
最小値																	
最多値																	
データ数																	
標準偏差																	



創意工夫・社会性等に関する実施状況

工 事 名	○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 工事	受注者名	
項 目	細 別	提 案 内 容	
<input type="checkbox"/> 創意工夫  自ら立案実施した創意工夫や技術力	<input type="checkbox"/> 施工		
	<input type="checkbox"/> 新技術活用		
	<input type="checkbox"/> 品質		
	<input type="checkbox"/> 安全衛生		
<input type="checkbox"/> 社会性等  地域社会や住民に対する貢献	<input type="checkbox"/> 地域への貢献等		

- 1 該当する項目の□にレマークを記入。
- 2 具体的内容の説明として、写真、ポンチ絵等を説明

創意工夫・社会性等に関する実施状況

工事名	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○工事		
項目		細別	
提案内容			
(説明)			